

# 平成 26 年度 大雪山国立公園 表大雪地域

## 登山道関係者による情報交換会

### 【議事録】

平成 26 年 6 月 9 日(月) 14 : 30~17 : 00  
美瑛四季の情報館 会議室

時間	担当	内容
14:30	東川自然保護官事務所	定刻となりましたので、ただいまから平成 26 年度大雪山国立公園表大雪地域登山道関係者による情報交換会を始めさせていただきます。 皆様にはシーズンイン直前の何かとお忙しい中をご出席賜りまして、誠にありがとうございます。本日の司会進行役の東川自然保護官事務所の岸田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 はじめに上川自然保護官事務所の野川自然保護官より挨拶を申し上げます。
14:32	上川自然保護官事務所	皆さん、こんにちは。上川自然保護官事務所の野川です。大雪山国立公園も今年指定 80 周年を迎えることとなります。非常に歴史のある国立公園で、多くの登山道が多くの方に楽しまれています。今日は多くの方にお集まり頂きまして、ありがとうございます。表大雪地区の登山道関係者の皆さんにお集まり頂きましたけれども、これだけ多くの方に支えられて、その道がなりたって、維持され、利用できる環境になっているのだと思います。 本日は、それぞれの組織・機関の行う活動について今年度の活動を確認する、また山にある課題を情報交換・意見交換を行う、なかなかそこから具体的な解決策・術は見いだすことは難しいですけれども、課題を共有する・手順の第一歩を決める方向性を皆さんの中で良い案が浮かぶ会になればと思っています。 本日は行政機関・山岳関係者の方、設計・施工・調査を行う業者の方々に来て頂いて、長く時間は取れないですけれども、情報交換が出来ればと思っています。
14:42	東川自然保護官事務所	≪岸田自然保護官より出席者紹介・資料の説明≫
14:45	上川自然保護官事務所	≪環境省北海道地方環境事務所 資料説明≫ それではその他、資料を頂いた方々から補足等ありましたら発表をお願いします。

14:55	上川総合振興局	<p>《資料説明》</p> <p>道有トイレの大函トイレは水のトラブルのため、今年度は閉鎖します。大函園地方面から糠平方面に車で五分ほど行くと開発局のトイレ、層雲峡方面に5分ほど行くと道有の銀河流星ノ滝トイレがあります。</p> <p>黒岳トイレは平成15年度に設置し、当初からオーバーユースで、バイオトイレとして機能していません、くみ取りトイレ可しています。上川総合振興局で、上川町役場、観光協会、山のトイレを考える会のご協力を得て、くみ取りを行っています。くみ取ったものはビニール袋に入れ、結束バンドで締めて置いておきます。年間6回のくみ取りが終わるとヘリで下げています。</p> <p>残念ながらオーバーユースのため、小は蒸発しきらずバイオトイレとして機能していません、我々がピシヨピシヨになりながら作業することを余儀なくされています。もし作業を体験したい山岳関係者がおられましたら体験できますのでよろしくお願い致します。</p> <p>北鎮岳の分岐標柱が昨年落雷で破損し、上川自然保護官事務所の野川氏と協議し、職員実行で補修をしました。</p> <p>上川総合振興局で独自に平成25年度から3年間「大雪山の魅力再生事業」という事業に取り組んでいます。昨年はかでの2、7で上川町の写真家・市根井幸悦氏の講演会、大雪カムイミントラPR展でポスター展示・パンフレットを展示しました。</p> <p>平成26年度は9月6日札幌ファクトリールームで「北海道の山」の著者である伊藤健次氏の講演をして頂く予定です。札幌ファクトリーアトリウムでのステージではステージアトラクション、トークライブショー、パネル展示等を行います。紅葉がはじまる前に大雪山の魅力を発信し札幌の方にも大雪山に来て頂きたいと思っています。</p> <p>平成26年度から緊急雇用の人材育成事業に取り組んでいます。羽衣の滝の遊歩道は北海道が管理していますが、現状では通行止めになっています。現在、通行再開については関係機関で協議していますが、この事業で天人峡地区の観光振興策で人材育成に取り組めます。大きな事業としては魅力再生映像として、天人峡地区の自然をYOU TUBE、SNSで春夏秋冬の映像発信し、年間分をDVDにして関係機関に配布します。その他は滝見台で8月～10月、3、4回ガイドと一緒に自然観察ツアーを実施します。この事業は平成26年度だけで終わるのではなく、その先も続けていく予定です。</p> <p>振興局で管理しているトイレや登山道はたくさん有り、予算がない中、皆さまのご協力を得て、維持管理をしています。この場を借りて皆さんに御礼を申し上げます。ありがとうございました。</p>
15:08	美瑛山岳会	<p>《資料説明》</p> <p>去年、協働型事業で一般のボランティアの皆さんを募集し、美瑛富士・美瑛岳登山道の補修のための資材を上げています。参加者は延べ60名でした。美瑛富士避難小屋の下は運搬した資材で補修をしている部分もありますが、そこからもっと下の洗堀が進んでいる部分を、去年デポしたフトンカゴ・テンサーエに加え、石材も現地で調達出来そうなので使用して設置します。</p> <p>美瑛岳は資材30本と鉄ピンをあげていますが、東川自然保護官事務所と相談し、美瑛富士か美瑛岳どちらか一本にするのか両方するのか決めて、去年と同じスタイルでやっていきます。</p> <p>美瑛富士避難小屋の清掃、ゴミ下ろし、指導標識などは美瑛町の山岳救助隊等と協働しながらやっていきます。</p>
15:13	大雪山研究者ネットワーク	<p>登山道の荒廃調査は20年以上前から行っていますが、その間に調査方法が変わってきています。UAVとは無人航空機のことです。小型ヘリコプターにカメラを付け、地表を飛び撮影し、三次元的に図化をします。できるだけ平日の人が少ない時に調査をします。</p>

15:15	北海道大学大学院	<p>《資料説明》。</p> <p>登山道管理水準とも関係してきますが、黒岳・白雲岳以外の無人の避難小屋の利用実態が分からないという問題があるため、利用状況を計る試みとして、皆さまにご協力をお願いします。</p> <p>登山者カウンターなども設置したりしていますが、実際に避難小屋や野営地に泊まった方に、何人くらい泊まっていたかネット上で投稿してもらうという試みです。この文書を出来れば各所に広めるのにここにいらっしゃる方々にご協力を頂いて、データを取りたいと思っています。</p> <p>それと登山者の意識調査を行います。層雲峡・旭岳温泉・銀泉台を調査箇所と想定して、下山された方に、7月から9月にかけて何回か実施して登山者に今大雪山の登山中にどのようなことを感じているのか、登山道の管理水準に生かすために、何を望んでいるのかを聞きます。</p> <p>山のトイレを考える会の事務局をやっていますので、そちらの説明もさせていただきます。北海道山のトイレマップを作っていて今年も助成金を頂いて、新しい版を印刷中です。</p> <p>ネットでサイトも作っているので、もし修正すべき点があれば教えて頂きたいと思います。山開き・パトロール・イベント等で配布するために、まとまった部数を提供することも可能のため、言ってもらえればお送り出来ます。是非トイレマナーの普及・啓発ツールにご協力頂きたいと思います。</p> <p>9月7日(土)トイレデーに全道の登山口に山のトイレを考える会の会員が立ち、マップの配布、清掃を行います。</p>
15:21	上川町	<p>5/16 大雪山国立公園層雲峡地区登山道等協議会総会で決定した事業を記載しています。</p> <p>《資料説明》</p>
15:22	大雪と石狩の自然を守会	補足は特になし。
15:24	東川自然保護官事務所	その他資料の提供はしていませんが、発表頂ける方はいますか。
15:24	NPO法ねおす	19ページについて補足説明します。「NPO法人ねおす」の作業予定箇所について活動が書かれていますが、事業名としては「東川町大雪山国立公園保護協会」が実施する委託事業をやっています。
15:25	大雪山国立公園研究者ネットワーク	大連協から協力を得て、外国人向けの英語の大雪山国立公園の地図を作成しています。今頃、完成している予定だったが、野川保護官からお話があった登山道技術指針の管理検討をしていて、その地図の中にリバイスした水準レベルを盛り込みたいので完成が遅れ、今年度か来年度には大雪山の英語の地図が出来るとの予定です。
15:26	東川自然保護官事務所	<p>その他、何かありますか。</p> <p>《意見無し》</p> <p>それでは各団体の活動の意見交換に移ります。</p>
15:27	北海道山岳整備	環境省に聞きたいのですが、管理水準の見直しの進捗具合を教えてください。
15:28	上川自然保護官事務所	後ほど丁寧に説明させていただきます。それに伴うことでもいろいろ、他に意見等あります。
15:28	旭岳ビジターセンター	登山道の現況についてお話ししたいと思います。6月6日に裾合いで道迷いの事故がありました。旭岳に登り、間宮岳を経由し北鎮岳に登ろうとしていた男性二人が、北鎮岳が険しそうに見えたため、中岳分岐から中岳温泉に向かいました。天気は良かったのですが、霧が掛かり道を見失いました。ピウケナイ沢の徒渉点付近でビバークし、翌日電話が掛かるところまで上がり、家族に電話をしました。その後、ピウケナイ沢ではない別の沢に沿って下り、15時頃旭岳温泉と旭岳源水間の道路に出ました。裾合平は例年よりも早い雪解けで残雪と藪の立ち上がりで道が非常にわかりにくくなっています。ベンガラを撒いた方がいいのでしょうか？ベンガラを撒くと雪が溶けたときに植生を踏みつけて痛めるために、旭岳周辺ではベンガラをまいていないと聞いています。裾合平は6月は非常に注意が必要であると各登山口に注意喚起するなど考えた方がいいと思います。
15:33	美瑛山岳会	自然公園指導員の保護大雪地区の指導員で春と秋に例会をしていますが、その時に赤岳頂上周辺のペイントの間隔が狭く、目立ちすぎ、景観上問題があるのではないかと報告がありました。また、天人峡化雲岳歩道の整備が行き届いていなく、ハイマツ・ササのかぶりが酷く、登山道が川になっている。黒岳トイレ協力金の200円がツアーや集団登山が支払いをしていないように見える、と報告がありました。

15:37	上川自然保護官事務所	ベンガラと自然公園指導員について話を整理します。 まずベンガラについて意見等、助言等がありますでしょうか。 GSSで管理してもらっていますが、運用状況等、何か対応していることはありますか？
15:37	大函森林事務所	GSSで撒いているベンガラについては植生に影響のない部分を巻いています。ベンガラを撒いていないところはロープで対応しています。
15:38	上川自然保護官事務所	GSSが頻繁に巡視をしているので、雪解けに伴いロープ等で道をコントロールをしているように見受けられます。ベンガラについて懸念材料はありますが、他に何か意見はありますか。
15:39	NPO法人かむい	4年ほど、銀泉台で巡視をしていますが、赤岳はベンガラは撒いておらず、全てロープで対応しています。その他は折れた枝を拾い集めてピンクテープを付けたりして、数百メートルおきにラインが判るような対応をしています。
15:40	北海道山岳整備	去年、7月下旬の雪が溶けた後から裾合平の巡視をしましたが、全部が雪と言うのであれば行く人の技量は問われますが、今年は6月中旬か下旬くらいから巡視がスタート出来れば、ルートがある程度見えてきて、迷いやすいような所だけ、ロープを張るなどしてある程度対応は出来ると思います。  去年、天人峡の三十三曲り歩道をボランティアでクラック・崩れた階段・倒木の補修をしました。先日行ってみましたが、クラックは問題ありませんが、去年自分がやった木柵階段は崩れていたのに対応したいと思っています。去年はボランティアで作業しましたが、今年も是非ボランティアでやりたいので、そういう計画があるようならば教えて欲しいです。
15:43	東川自然保護官事務所	先日、私もその道を歩きましたが、崩れていました。また登山関係者・森林管理署などと相談しながら、対応策を考えていきたいと思っています。 その他、意見等ありますか。 《意見無し》 それでは続いて環境省より大雪山登山道管理水準に関する意見交換に移ります。
15:45	上川自然保護官事務所	《登山道管理水準について説明》
16:00	東川自然保護官事務所	内容についてご意見・ご質問等ありますか。
16:00	山楽舎BEAR	資料9-2について、一般登山者が見てクビを傾げる所もあると思うので、例えばパブリックコメントなど出来るだけ広い人たちの意見を聞いてみた方がいいのでは。
16:02	上川自然保護官事務所	パブリックコメントを行う予定はあります。管理水準の素案の段階なので、それを検討会に戻して議論して案の段階が出来たら、改めてパブリックコメントを出して広く知ってもらいたいと思っています。
16:04	北海道山岳整備	裾合平の巡視・整備をかねて姿見園地を歩きました。登山者にとってはただの道かも知れませんが、あの路線は高齢・若年層が多く利用する人にとってはかなりきつい道に見えました。スニーカーならいい方で、サンダルで歩いている人もいます。遊歩道と見られているが、段差の落差がきつかったり、崩れたりしている場所が多々あります。景色がいいから周りを見てください、と言いたいです。危ないから足下を見てください、と言わざるを得ない状態です。登山道を歩く人は健脚な人が多く、崩れなど気になりませんが、観光客が多く入る姿見園地などに関してはどうなるのかな、と管理水準の青色のラインを見て思いました。
16:06	上川自然保護官事務所	自然公園指導員連絡会の時にも、上富良野岳ー富良野岳間に関して議論をしました。稜線上は色んな危険性があり、ランクを低い方に設定するのではなく、高い方に設定した方がいいんじゃないか、など意見を頂いたりしたので今の意見も今後の議論の参考にさせて頂きたいと思っています。
16:08	大雪山国立公園パークボランティア連絡会	愛山溪温泉からの松仙園ルートは開ける予定はないのでしょうか？閉鎖になった経緯は写真家が写真撮影のために入り迷ってから、藪が酷くなり登山道が明確じゃないから閉鎖となっていると思います。ですが、あそこは高層湿原を巡るコースや紅葉時期も素晴らしく、何故あれを管理して生かさないので、皆さんに広めようとしないのか常々不思議だと思っています。山岳会などと協力して以前のように通行出来る場所になるように検討して欲しいと思います。

16:10	上川自然保護官事務所	<p>松仙園ルートに関しては、現状は全く管理をされていなく、木道も湿原の中に埋まっていたり、保全しなければならぬ湿原の中を歩かなければならぬ状態にあります。</p> <p>現状では登山道がたくさんあり、管理という体制が出来れば開通させたいですが、現時点ではそれに対して動ける場所がありません。動けない場所に対して動き出しをすることは難しい。他の場所でも課題がある箇所がいっぱいあります。課題を対処しながら、新たなところを管理者無しのゼロからスタートすること、復活させることが難しい場所の一つです。皆さんの方からここまでやるからどうだ、と言ってくれるのであれば先に進むのかも知れませんが、現時点では難しいのが現実です。</p>
16:13	北海道大学大学院	<p>現状の素案について検討会を1回やって、部会を2回やって作った素案なので、出来るだけ早急に今年度の検討会を早めに関いて、素案について議論をきちんとして上で改めて皆さんに意見を聞いた方がいいと思ってました。</p> <p>パブリックコメントについても、意見を出しやすい形を考えるべきだと思います。前回とは区分の切り方を変えたところや、一つの区間の色分けを替えたところもあります。全体に関するご意見や、路線の色分けそのものに意見があるのか、これに関してシートか何か作って一度配布をして意見を伺うようなことをしたり、次回の検討会で意見の集め方を検討してもいいと思います。</p> <p>環境省のHPにパブリックコメントを載せてそれを閲覧してもらって、意見をください、と言っても中々意見が出しづらいと思います。それなりの関係者、山岳会やガイド協会には、こういう形でちゃんと配布・回覧をして見て頂いて、意見を出しやすくなった方がいいんじゃないかと思っています。</p> <p>前は作る段階からそういうところの周知が足りなかったから、その後うまく活用されなかったと持っているの、その辺を今回はきちんとして欲しいと思います。</p>
16:13	北海道山岳整備	<p>管理水準の方向性はなんとなく見えますが、管理水準をなされて、整備に入って、環境省が直轄で整備して、崩れたところを自分たちが維持管理をしています。管理水準を決めた後に崩れたときのことはこれから話をされるのでしょうか？そういう話はないのでしょうか？</p>
16:14	上川自然保護官事務所	<p>今年度は技術指針の検討を行います。前回の作った技術指針は近自然工法を含めた登山道に関して整備する際にこんな工法・管理方法があります、というような作業をまとめた冊子にすぎませんでした。先ほどベンガラを蒔いた方がいいのではないかと、登山道のマーキングが多すぎるのではないかと、という話がありましたが、登山道をランク毎に管理できる、技術指針の方と登山道の管理水準と合わせてその話をする予定です。</p> <p>そのときに整備技術指針をどうやって決めていこうか、というときに想定している議論の方法として、施工したところ・これまで施工はしていなかったけれどもこれから施工が入るかもしれないところを検討会委員や施工者・設計者・管理者と現地に行って、この場所だったらこういう風に出来るんじゃないかとアイデアを出し合っていて、アイデアの蓄積をしてまとめていく方法を考えています。当初は条件の厳しいところで試験施工をやって反応を見ながら整備技術指針を作っていこうという話もありましたが、答えが出ることではないので、今まで作ってきたところの成功事例・失敗事例を見ながらまとめていきたいので、本日ここに参加された方にもその時はお声かけさせて頂くこともありますので、ご協力をお願いしたいと思います。</p>
16:19	北海道山岳整備	<p>是非お願いしたいと思います。整備にお金をたくさんかけたのに、翌年には壊れているところがたくさんあるので、それを直したくてもどう直していいかわからない、というところもあると思います。そういったところを解消出来るようにやったところをチェックして検証して次に繋げられるサイクルを出来るようにお願いします。</p>
16:21	(有)風の便り工房	<p>今、岡崎氏が言ったのは施工者の立場で言っているように感じましたが、最終的には登山者に立ってわかってもらわないと意味がありません。</p> <p>私も整備をしているので、管理技術や水準に沿って施工を進めますが、結果は登山者に跳ね返ります。竣工レベルをクリア出来ればいいというだけでなく、登山者の立場に立って考えてもらえればと思います。</p>
16:23	上川自然保護官事務所	<p>施工者の立場ではなく、登山者の立場になってということですが、施工で工事発注をすると完成した物の出来映え・見栄えよりも、図面でどれだけ正確に出来ているかを見なければならぬという実情があり、これが登山道だと難しいところ。</p> <p>今回、設計・施工会社も入っているので漆原さんご意見をお願いします。</p>

16:25	北都エンジニアリング	<p>近自然工法が登山道整備者の中では広がっているようですが、基本的に、近自然工法とはこういうものだ、というものは存在しないのが、近自然工法の特徴です。一度、人工的に手を入れてみたら、それが色々な浸食現象を持つというのは本来の自然の動きではありません。自然現象が安定的に推移するのに障害となる物を取る施工をするのが近自然工法です。マニュアル化して石を組むのが近自然工法ではありません。登山道や景観など、自然が自然に動く環境を作るのがベースで、なおかつ登山者がそこを利用出来るようにする、という発想をもって私どもの所は設計しています。色々な施工者が受注して施工しますが、それぞれの業者様の施工能力によって耐久能力は変わります。失敗例はありますが、近自然工法が本当に登山関係者に理解されているのか疑問に思っています。石や木を使って施工するのが近自然工法を思われているようですが、そこにもともとある自然を、いかに自然が自然を作るときに障害になる物を取り除くか、それを場所や材料や周囲の状況によって工夫して作り上げていなければならないというのが、近自然工法のベースになっています。平成17年度の技術指針には私の師匠である福留修文氏が関わりを持っていたと思いますが、昨年他界されましたが、登山道整備のことをベッドの上で話されていましたのでメモを取りました。福留氏の紹介した近自然工法が良い風に残されるといいと思っています。私はまだ技術的には物足りていませんが、皆さんの意見を聞きながらよりよい登山道整備になるよう関わっていきたいと思います。</p>
16:30	上川自然保護官事務所	<p>完成形ではないというのが難しいですが、業者の施工によって耐久性が変わると言いますが、平井建設さん、施工に関して何かありますか？</p>
16:35	平井建設	<p>設計して積算して入札して施工しますが、その中において設計途中に反映されているはずの登山道整備の目標を、出来るだけ考えて施工しているつもりです。ですが、施工途中でも集中豪雨などが発生するため、工事を数量化しなければなりません。限られた予算の中で、目的と目標に沿った最大限の物を作成しなければならないという使命感は持っています。</p> <p>我々は営利団体でもあるし、いい物を作りたいと心がけたいですが非常に難しい。これは私の考えですが、土木工事の工事不良による貸し担保は一年間ですが、突発的な豪雨で検査を通ったが流されてしまったとき、修繕用の石材を現地で調達するのは不可能です。地上から石材を空輸しますが、そのときも修繕用を見込んで空輸しています。その辺も考慮の上で浸食度合いを考えながら今後設計などに生かして欲しいと思います。</p>
16:40	旭川山岳会	<p>当時、福留先生が愛山溪に来て秋に整備をやりました。福留先生のやり方は水を制しないとダメで、それでないといつまでたっても洗堀は止まらない、ということで施工をしました。翌年、登山仲間と愛山溪に行ったが、皆さんここを整備したと言わないとわかりませんでした。実際に整備をしている人たちには不満かも知れませんが、そういうのが登山道整備だと思っています。</p> <p>管理水準について、前の時は私も関わりましたが、今回の管理水準は昨年末からはじまったようですが、いつまでの予定になっていますか。</p>
16:41	上川自然保護官事務所	<p>今年度中の予定です。</p>
16:42	旭川山岳会	<p>パブコメをお願いするにしても、登山道は夏なのでそれを聞き終わってからになると冬前くらいになると思います。資料を見ても、自分の登った山はわかりませんが何年前に登った山は今どうなっているか判りません。今歩いている人に聞かないと意味がありません。前は2年はかかっていたので、今回もじっくりと検討してもらいたいと思います。</p> <p>湧駒別から天人峡に行く道も使えないと聞いていますが、クチャンベツの林道もいつから使えるようになるのか、知りたいです。</p> <p>外国人のための地図を作るのはいい話だと思います。過去に旭川市の青年会議所で英語の大雪山の地図を作りました。それは一年で終わったが、なるべくいいものを作って頂きたいと思います。</p>
16:45	上川中部森林管理署	<p>湧駒別の路線はまだ行けていませんが、治山の方で治すのであれば治す方向で考えたいと思っていますが、まだ現状は把握していません。</p> <p>沼ノ原クチャンベツ登山道林道は去年直ったので、6月中に確認し6月27日から解放予定です。</p> <p>扇沼山は6月13日から鍵を貸出しをする予定です。</p>

16:47:	北海道大学大学院	設計と施工の話を持っていて思いましたが、前回の管理水準のとき、定期的にモニタリングを行うことを位置づけられていましたが実際には行われませんでした。登山者が思われている保護と利用のランクも、我々でもびったり一致していません。こういう不確定な要素の中で設計したり施工したりするので、こういう情報交換会があることだし、モニタリング・事後評価の確認を行う、考え方をすりあわせを定期的に行うことが必要です。計画を作っただけではチェックをしてそれを回してそれを生かしていかないと前回と同じ結果になってしまいます。
16:49	山楽舎BEAR	愛甲先生のお話と被りますが、管理水準に関して昨年12月から大雪山における登山道のあり方・理念のお話をしている最中ですが、方向性が見いだされる前に全く理念のない施工をされてどうい結果が出てくるのか危惧しています。今、中岳分岐と間宮岳の間の石垣について、あれをどう評価するのか人それぞれですが、もしああいう延々石垣になって砂防ダムみたいになったらこちらが破壊したいような感じになります。予算の関係で仕方ないですが、施工凍結してちゃんとしたあり方を話し合わせただ後に、施工を開始すると言うことは出来ないのでしょうか？
16:52	上川自然保護官事務所	私がお答えする立場にあるかわかりませんが、言わせてもうと環境省と皆さんの信頼関係の中にある事だと思う、もう一度信用してください、としか言えません。元ある管理水準があり、それを元に施工・管理を進めていますが、今のご意見は大変厳しく、中岳一宮岳の間の施工は環境省が自ら作った管理水準で規定したランクを超えているんじゃないですか、とそういう意味合いだと思います。それについては真摯に意見を踏まえ、施工する際にこういう状況で施工せざるを得なかった状況にあったんだと思いますが、それについては大いに反省します。ただ、現行の管理水準に関しては信頼をして欲しいと思っています。
16:53	北都エンジニアリング	あそこの間宮の法止めは私のところで設計して、業者に施工をしてもらいました。あそこは近自然工法とは違い、浸食が今まで経験したことがないような登山道がなくなってしまうような場所でした。当初、元の道を歩けるようにするにはどうしたらいいだろうか、と考えたときに法尻に一石か二石置いたらいいじゃないかという程度の施工をするまでの間に、集中豪雨があり、人の胸位までとんでもない状態に深く浸食してしまいました。急遽、法高を上げ施工をしましたが、札幌の所長にこってりと焼きが入り叱られ、あれに関してはかなり反省をしました。  先ほど近自然工法の発想がわかってもらえてないんじゃないか、と発言したことを謝ります。旭川山岳会の土屋氏が近自然工法が一番大事なことをしゃべってくれました。水をどう制するかという技術は元々近自然工法は河川工法から発生しているので、どう自然に戻しながら治めていくのが、非常にわかってらっしゃると思いました。本日、施工業者が来ているので、やったことがわからない、というような浸食を止める技術で施工をやって頂きたいと思います。
16:57	東川自然保護官事務所	その他、管理水準に関してご意見ありますか。 《意見なし》 皆さんから話題提供・情報交換等ありましたらどうぞ。
16:58	上士幌自然保護官事務所	東大雪管内のトムラウシ山泥濘箇所登山道整備ですが、そのための木材運び兼登山ということで毎年行っている荷上げ登山を7月10日木曜日に行います。昨年度は新得山友会の皆さんとやっていますが、是非とも表大雪側の皆さんの力も貸して欲しいと思っています。案内文書を送らせてもらいますので、ご協力お願いしたいと思います。
16:59	北海道山岳整備	トムラウシの荷上げは関係者だけでなく、個人でいいのでしょうか。
16:59	上士幌自然保護官事務所	個人の登山道関係皆さんにもお伝えしていきたいと思っています。
17:00	東川自然保護官事務所	その他ありますか。《意見無し》 そうしましたら、全ての議題が終了しましたので野川自然保護官より閉会のご挨拶をいたします。
17:00	上川自然保護官事務所	お疲れさまでした。 もう少し議論したい話題もたくさんありますが、時間もなく申し訳ないと思っています。管理水準の話があり、もっと多くの方に聞いて欲しい、聞きやすい方法で聞いて欲しい、など意見を頂きました。山に向かって歩く際、思ったことを蓄積して頂いて、こういった情報交換会に言葉を交わして頂けるとありがたいと思います。本日はありがとうございました。今シーズンもよろしく願います。